

(対象期間：2022/3/14～2022/3/18)

## 【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年3月18日)

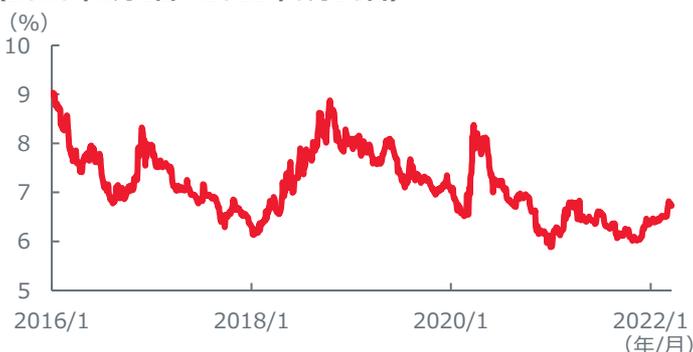


## 【株式市場】

週初は銀行株などへの外国人投資家からの資金流入を背景に上昇しました。15日は中国株が急落した一方で、インドネシア株式市場には引き続き資金流入が見られ下落は限定的でした。16日は銀行株を中心に上昇し、終値ベースで史上最高値を更新しました。17日は米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果を受け堅調となった米国株を好感し、インドネシア株式市場は取引時間中に7,000ポイントの大台にのせる展開となりましたが、終盤にかけて利益確定売りが入りました。18日は続落となりましたが、前週末比では上昇しました。

2022/3/11	2022/3/18	変化率
6,922.60	6,954.97	+0.47%

## 【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年3月18日)

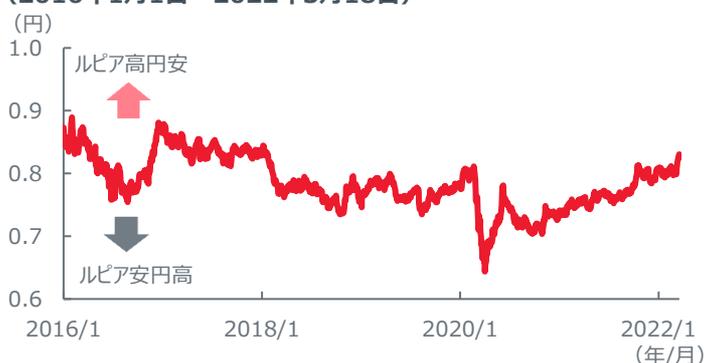


## 【債券市場】

15日の国債入札において応募額は前回は下回ったものの短期債を中心に堅調な需要が見られました。しかし、ウクライナ情勢の緊迫化やFOMCを控えて外国人の応募は低調で、国債利回りは上昇（価格は下落）しました。同日発表された2月の貿易収支は市場予想を大幅に上回り、22か月連続の黒字となりました。16日はFOMCを前にした警戒感から利回りは上昇しました。17日はFOMCの結果や、インドネシア中央銀行（BI）が市場の予想通り政策金利を据え置いたことなどが好感され、利回りは低下しました。18日は小動きとなり、10年国債利回りは前週末比では小幅の上昇となりました。

2022/3/11	2022/3/18	変化幅
6.721	6.724	+0.003

## 【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年3月18日)



## 【為替市場】

ルピアはウクライナ情勢の先行き不透明感から週初は様子見姿勢が強まりました。16日は株式市場への外国人投資家からの資金流入などを背景に対米ドルで上昇しました。しかし、週末にかけてはウクライナ情勢に不透明感が残る中、米国株の急反発などリスク回避姿勢の後退がみられ、原油、石炭、ニッケルなどのコモディティ価格が下落したことなどを背景に、ルピアは対米ドルで弱含みました。ルピアは対米ドルでは前週末比で下落しましたが、対円では円安が進行したため上昇しました。

2022/3/11	2022/3/18	変化率
0.8174	0.8304	+1.59%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。